

# 三陸地域を襲った主な地震と津波

(地震@なび釜石版より)

西暦 (和暦)	震源地 (名称)	津波襲来と被害
1896年 (明治29年)	三陸沖	マグニチュード8.5。 <b>明治三陸津波襲来</b> 。地震後約35分で三陸地方一帯に津波が襲来。津波の高さは小白浜で16メートル、両石で14.6メートルを記録している。釜石市全体の死者は約6,700人。
1933年 (昭和8年)	三陸沖	マグニチュード8.3。 <b>昭和三陸津波襲来</b> 。浜では家や舟を流され、町の中では大きな火災が発生した。両石で津波の高さ9.5メートル、小白浜で6.0メートルを記録している。釜石市全体の死者は行方不明者を含め約400人。
1952年 (昭和27年)	十勝沖	マグニチュード8.2。 <b>十勝沖地震津波襲来</b> 。2.5メートルの津波が襲来。釜石魚市場は倒壊している。
1960年 (昭和35年)	南米西部	マグニチュード8.5。 <b>チリ地震津波襲来</b> 。地球の反対側南米チリ沖で起こった地震により津波が発生。約23時間かけて日本まで津波がやってきた。津波の高さは小白浜で4.0メートル、釜石で3.5メートルを記録している。
1978年 (昭和53年)	宮城県沖	マグニチュード7.5。宮城県沖地震発生。大船渡で震度5を観測。太平洋側で津波が観測されたが、被害の報告はなかった。宮城県では死者28人。
1994年 (平成6年)	三陸はるか沖	マグニチュード7.5。青森県八戸市で震度6。死者3人。東北地方太平洋側に津波警報が発表され、最高が宮古の55センチを観測、各地で津波の報告はされているが、被害は報告されていない。
2003年 (平成15年)	宮城県沖	マグニチュード7.0。震源の深さは71km、大船渡で震度6弱、釜石で震度5強を記録。津波はなかったが、多数の家屋損壊等を生じた。
2003年 (平成15年)	宮城県北部	マグニチュード5.3～6.2。震源の深さは12kmと浅く、宮城県で震度6弱から6強の地震が同日内に3回発生した。岩手県で震度4、釜石市で震度3を記録。宮城県では甚大な被害を生じた。

# 明治と昭和の津波による犠牲者数

(釜石市郷土資料館HPより)

町村字名	明治三陸地震津波				昭和三陸地震津波				
	津波前の人口	死者	重傷	軽傷	津波前の人口	死者 行方不明者	重傷	軽傷	
釜石町	釜石	5,687	2,907	68	243	23,946	30	15	104
	平田	1,299	858	16	292	846	1		
	白浜					354	7	1	
鵜住居村	両石	939	790	12	13	750	3	3	2
	鵜住居	712	174	9	20				
	箱崎	930	15	0	2	635			1
	片岸	563	49	3	8	375			
	室浜					356	4	1	10
	根浜					102			
	桑ノ浜					117			
唐丹村	白浜					386			
	仮宿					76			
	大石	323	10	0	0	694			
	荒川	260	115	2	9	494	10		
	片岸	156	98	9	9	625	5		2
	小白浜	629	475	18	6	871	6	17	3
	本郷	873	769	6	3	613	328		11
花露辺	294	217	0	13	397	10		1	
合計	12,665	6,477	143	618	31,637	404	37	134	

# 明治と昭和の津波の高さ(最大浸水高:メートル)

(釜石市郷土資料館HPより)

町村字名	明治三陸地震津波		昭和三陸地震津波	
			満潮面上	満潮時換算
釜石町	釜石	7.9	4.1	5.5
	嬉石	6.9	3.9	5.3
	平田	7.5	4.5	5.9
	白浜	7.4	4.4	5.8
鵜住居村	両石	13.0	9.1	10.5
	箱崎	8.5	4.4	5.8
	片岸	6.4	5.5	6.9
	室浜	6.9	6.0	7.4
唐丹村	小白浜	15.1	11.8	13.2
	本郷	13.5	9.3	10.9
	花露辺	13.8	8.3	9.7
	下荒川	13.0	7.8	9.2
	大石	12.5	6.9	8.3

# 釜石市の過去の津波被害

(釜石市誌通史より)

## (1) 明治三陸地震津波

津波のあった年月日

明治29年(1986年)6月15日

震源地

三陸沖

マグニチュード

8.5

- (概要)
- ・旧5月5日 午後7時32分30秒より、稍弱震5分間
  - ・ // 午後8時7分 大津波襲来す
  - ・唐丹、平田、白浜、両石、箱崎の5小学校の校舎校具とも流失

(波高)

片 岸 6.4m  
両 石 14.6m  
釜 石 7.9m  
小白浜 15.1m

(被害)

区 分	全戸数	罹災戸数	全人口	死者	負傷者
釜 石	956戸	791戸	5,274人	3,323人	500人
平 田	149戸	107戸	1,255人	718人	135人
両 石	144戸	141戸	958人	824人	126人
鵜住居	143戸	7戸	952人	9人	9人
箱 崎	112戸	47戸	744人	174人	51人
片 岸	75戸	32戸	499人	54人	23人
唐 丹	431戸	331戸	2,807人	1,585人	—
計	2,010戸	1,456戸	12,489人	6,687人	844人

# 釜石市の過去の津波被害

(釜石市誌通史より)

## (2) 昭和三陸地震津波

津波のあった年月日

昭和8年(1933年)3月3日

震源地

三陸沖

マグニチュード

8.3

- (概要)
- ・午前2時31分39秒、強震大津波となる
  - ・第1波 3時10分頃(釜石湾) 約10分の周期を以て、激浪を繰り返した
  - ・火災発生 3時20分(場所前、只越、松前)

(波高)

片岸	5.5m
満潮面上 両石	9.1m
釜石	4.1m
小白浜	11.1m

(被害)

区分	全戸数	全人口	死者	行方不明	負傷者
釜石	4,742戸	25,146人	26人	12人	120人
鵜住居	402戸	2,797人	5人	5人	22人
唐丹	550戸	3,676人	135人	224人	34人
計	5,694戸	31,619人	166人	241人	176人

# 釜石市の過去の津波被害

(岩手県災害関係行政資料より)  
(市制施行五十周年記念誌より)

## (3)チリ地震津波

津波のあった年月日

昭和35年(1960年)5月24日

震源地

チリ沖

マグニチュード

8.5

- (概要)
- ・1960年5月23日、南米チリに大地震発生、太平洋一帯に津波
  - ・日本の太平洋沿岸には一昼夜後の5月24日午前4時頃、大津波が襲った

(波高)

両石	3.5m
T.P上 釜石	3.0m
小白浜	3.0m

(被害)

区分	数	計
全壊	17戸	139戸
住家半壊	111戸	
流出	11戸	
床上浸水	768戸	1,298戸
床下浸水	530戸	
罹災世帯数		1,351世帯
罹災者総数		6,524人
死傷者		なし

# 釜石市の過去の津波被害

(市制施行五十周年記念誌より)

## (4) 十勝沖地震津波

津波のあった年月日

昭和43年(1968年)5月16日

震源地

十勝沖

マグニチュード

7.9

- (概要)
- ・午前9時48分53秒地震発生(震度4強震)
  - ・午前10時20分頃から三陸沿岸に津波が襲った
  - ・水産施設の被害多数にのぼる

(波高)

両石	1.9m
T.P上 釜石	3.0m
小白浜	2.3m
室浜	4.7m

(被害)

区分	戸数	世帯数	罹災者数
床上浸水	162戸	99世帯	496人
床下浸水	154戸	126世帯	593人